

## 情報通信審議会 情報通信技術分科会 電波利用環境委員会（第 54 回）

### 議事要旨

1 日時：令和 5 年 2 月 15 日（水）15:00～17:00

2 場所：Web 会議開催 (Cisco Webex)

3 出席者（敬称略）

【構成員】平田主査、石上主査代理、長谷山委員、増田委員、秋山専門委員、上原専門委員、大西専門委員、小島原専門委員、清水専門委員、杉本専門委員、曾根専門委員、田島専門委員、塚原専門委員、徳田専門委員、松永専門委員、山口専門委員、山崎専門委員、山下専門委員、

【関係者】雨宮氏 (VCCI 協会)、尾崎氏 (富士電機)、久保田氏 (TELEC)、松本氏 (NICT)

【事務局】総務省：内藤電波環境課長、島田電波利用環境専門官、伊藤電波監視官、下谷電磁障害係長、木村官

#### 4 議事

議事に先立ち、平田主査より就任に伴う挨拶があった。また、新任の小島原専門委員、上原専門委員及び杉本専門委員について紹介が行われた後、平田主査より石上専門委員の主査代理への指名が行われた。

##### （1）CISPR サンフランシスコ会議審議結果について

各作業班主任より資料 54-1 及び 54-2 に基づき説明が行われ、次に、石上主査代理より総会の審議結果について説明が行われ、その後、質疑応答が行われた。

質疑応答の後、情報通信技術分科会への報告に当たり、本質に関わりのない細かい字句修正等については主査及び主査代理の一任となった。

主な質疑応答の概要は以下のとおり。

田島専門委員：資料 54-1 に記載されている久保田氏の報告について、ITU-R から新勧告が出された旨の記述があるが、新勧告というのはどれを指しているのか。

石上主査代理：ITU-R 勧告 SM. 2151、もしくはレポート SM. 2505 だったかと思う。

大西専門委員：WPT について、B 小委員会において FDIS (最終国際規格案) が否決されたとの報告があったが、具体的にどの国が反対しているのか。また、空間伝送型 WPT について PAS (公開仕様書) を発行することだが、いつ頃発行するのか、スケジュールが分かれば教えていただきたい。

久保田関係者：FDIS の否決については問題が 2 点ある。一つは電気自動車用 WPT に関連する

部分で、許容値が記載されていない事についての反対意見があった。測定法については FDIS に記載されていたのだが、測定法と許容値はセットであるべきとの意見で、これについてはスイス、フランス、ノルウェー、イギリス、イスラエル、フィンランド、スウェーデン、EBA が反対している。これは FDIS を Fragment に分けて議論した際、最終的にどのようにまとめ、合意を取るかについて議論しないまま FDIS を回付した事に原因があると思う。もう一つは空間伝送型 WPT に関する部分で、空間伝送型 WPT について、新しい定義を追加することだけでは不十分であり、測定法について記述すべきという意見や、ISM バンドに追加したとしても許容値を設定すべきという意見がある。これはカナダとイスラエル、スウェーデンが反対している。また、PAS の発行について、PAS を選択した理由のひとつに、早期に発行できるという利点がある。WG レベルでは測定法のたたき台も出来上がっており、許容値の案、加えて他の無線への影響を考慮した研究に関する報告を INF (参考文書) として配布し、それを FDIS と合体して PAS にする。作業が順調なら今年の末か来年には発行できるのではないかと思う。

山崎専門委員：B 小委員会の WG2 はしばらく開催されていないとのことだが、活動が活発でないことで何か問題は発生していないのか。

久保田関係者：WG2 では CISPR TR18 (架空電力線、高電圧装置の妨害波特性) のメンテナンスをしており、高圧送電線からの放射妨害波の試験データの整理等を行っている。WG2 のコンビナーは韓国の方で、当初、WG2 をサンフランシスコで開催する予定であったが、コンビナーが欠席となったため開催できなかった。WG2 については、通常、総会への出席を目的として専門家が集まっている中で開催するという事になっている。今回は WG2 開催に必要な専門家が集まらなかったため、非開催ということになった。

## (2) その他

事務局より、電波利用環境委員会報告 (案) (CISPR サンフランシスコ会議審議結果) については、2月21日(火)の情報通信技術分科会で本日の結果を踏まえて報告いただく旨連絡があった。

更に、次回会合は詳細決まり次第、メール等で通知する旨連絡があった。

(以上)